

			2026年度		授業計画	
国際オートメカニク科						
時 期	3年前期	単元	実習	教科名	EV	
科 目	自動車整備作業	教科書等 持参品	E V（電気自動車）基礎教育テキスト		発行日	2025年2月12日
			低圧電気取扱者安全必携			2026年3月7日
総時限	33時限（52時間）			救命救急テキスト		教科担当
単位数	単位					
1. 実務経験のある教員による授業科目 該当 非該当						
自動車整備士として、電気自動車整備の実務経験がある教員により電気自動車の取扱い・点検等について指導する。						
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）						
1. E V 基礎教育の修了（低圧電気取扱い者講習修了）						
2. 内装、外装など部品の着脱方法の習得						
3. 授業の到達目標（この授業を学ぶことで学生は何を理解し何ができるようになるのか）						
1. 電気自動車（E V、e - パワー車）の取扱いの注意事項が守れる						
2. 救急救命、A E D の取扱いができる						
3. 内外装部品の脱着が丁寧に出来る						
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）						
実技試験と筆記試験70点、行動評価13点、レポート9点、ロープレ8点の合計点で評価する。						
60点以上で合格とする。						
ただし、低圧電気取扱い修了証書発行の為、それに関わるテストはそのテスト内で80%以上とするが、電気自動車等の整備の業務に係る特別教育を修了した者は免除する。						
5. 準備学習						
電気自動車の取扱い上の注意事項について事前にテキストで予習しておくこと。						
6. 学修時間と単位						
1単位の修得に必要な学修時間の目安は、30～45時間の授業、および15～0時間の授業時間外学修（予習・復習・レポートなど）15～0時間である。						

2026年度

授業計画

国際オートメカニク科

時 期	3年前期	単元	実習	教科名	EV		
7. 授業概要（時限ごとの主な授業内容）					8. 教科書、資料、備品類		
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量	
1	■実習概要説明						
2	■内外装部品脱着						
3	■内外装部品脱着						
4	■内外装部品脱着						
5	■内外装部品脱着						
6	■ N B C 配布のパワーポイントに沿って説明・解説						
7	■ N B C 配布のパワーポイントに沿って説明・解説						
8	■ N B C 配布のパワーポイントに沿って説明・解説						
9	■ N B C 配布のパワーポイントに沿って説明・解説						
10	■ N B C 配布のパワーポイントに沿って説明・解説						
11	■ N B C 配布のパワーポイントに沿って説明・解説						
12	■ N B C 配布のパワーポイントに沿って説明・解説						
13	■ N B C 配布のパワーポイントに沿って説明・解説						
14	■実技説明						
15	■サービスプラグ脱着 実技練習 （個別評価）						
16	■サービスプラグ脱着 実技練習 （個別評価）						
17	■サービスプラグ脱着 実技練習 （個別評価）						
18	■電圧・抵抗値測定 実技練習 （個別評価）						
19	■電圧・抵抗値測定 実技練習 （個別評価）						
20	■電圧・抵抗値測定 実技練習 （個別評価）						
21	■電圧・抵抗値測定 実技練習 （個別評価）						
22	■救命救急・A E D使用 実技試験 レポート作成						
23	■救命救急・A E D使用 実技試験 レポート作成						
24	■救命救急・A E D使用 実技試験 レポート作成						
25	■サービスプラグ脱着 実技練習 （個別評価）						
26	■電圧・抵抗値測定 実技練習 （個別評価）						
27	■電圧・抵抗値測定 実技試験 レポート作成						
28	■電圧・抵抗値測定 実技試験 レポート作成						
29	■電圧・抵抗値測定 実技試験 レポート作成						
30	■サービスプラグ脱着 実技試験						
31	■サービスプラグ脱着 実技試験						
32	■サービスプラグ脱着 実技試験						
33	■実習試験 筆記 低圧電気に係る修了テスト						

■：対面授業

2026年度

授業計画

国際オートメカニク科

時 期

3年前期

単元

実習

教科名

EV

9. 安全 (KYのため必ず授業内で説明)

番号	作業名	遵守事項	災害事例	チェック
1	全般	・ 高圧配線の絶縁を確実にを行う ・ 感電の危険があるため、作業エリアを他と隔離する。(パイロンと遮断棒) ・ その他、日産自動車㈱の定める、作業遵守事項に従うこと		

10. 授業レイアウト (写真の貼り付けも可)

実習場

座学教室